

四半期報告書

(第21期第1四半期)

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

| | 頁 |
|--------------------------------------|----|
| 【表紙】 | 1 |
| 第一部 【企業情報】 | 2 |
| 第1 【企業の概況】 | 2 |
| 1 【主要な経営指標等の推移】 | 2 |
| 2 【事業の内容】 | 2 |
| 第2 【事業の状況】 | 3 |
| 1 【事業等のリスク】 | 3 |
| 2 【経営上の重要な契約等】 | 3 |
| 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 | 3 |
| 第3 【提出会社の状況】 | 5 |
| 1 【株式等の状況】 | 5 |
| 2 【役員の状況】 | 6 |
| 第4 【経理の状況】 | 7 |
| 1 【四半期連結財務諸表】 | 8 |
| 2 【その他】 | 14 |
| 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 | 15 |

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年5月10日

【四半期会計期間】 第21期第1四半期(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森 下 一 喜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第20期 第1四半期連結 累計期間 | 第21期 第1四半期連結 累計期間 | 第20期 |
|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日 | 自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日 | 自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日 |
| 売上高 (百万円) | 31,699 | 25,723 | 112,457 |
| 経常利益 (百万円) | 13,965 | 10,022 | 46,081 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 9,197 | 6,075 | 27,911 |
| 四半期包括利益 又は包括利益 (百万円) | 8,976 | 6,312 | 27,567 |
| 純資産額 (百万円) | 95,094 | 45,222 | 40,984 |
| 総資産額 (百万円) | 107,745 | 56,396 | 55,032 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | 9.59 | 8.54 | 32.24 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | 9.58 | 8.53 | 32.20 |
| 自己資本比率 (%) | 86.6 | 76.1 | 70.6 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

日本におけるスマートフォンゲーム市場は、スマートフォンの普及拡大に伴い、急速に成長を続けてまいりましたが、その成長速度はこれまでと比べ緩やかになり、安定的に推移しております。

一方で、日本における家庭用ゲーム市場は緩やかな減少を続けてまいりましたが、新型ゲーム機やVR（バーチャルリアリティ）端末等、新しい技術やゲームの楽しみ方が提案され、新たな市場の創出も期待されております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」の売上高が減少したことから、対前年同期比で減収となりました。このような状況の中、当社では「新規価値の創造」に向け、グローバル配信を前提とした新作ゲームの開発及び配信、並びに既存ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大に向けた取り組みに注力してまいりました。

新作ゲームでは、平成28年12月3日に北米・欧州へ配信を開始したプレイステーション®4向けオンラインアクションゲーム「LET IT DIE（レット イット ダイ）」を平成29年2月2日より日本・アジアへ配信を開始し、全世界累計で200万ダウンロードを突破いたしました。また、平成29年3月9日にはパッケージ版「LET IT DIE アンクルプライム エディション」を日本で発売するとともに、同様のアイテムがセットになった「Uncle Prime Edition Pack」を北米・欧州・アジアへ発売を開始しております。さらに平成29年3月27日よりアメリカにおいてテレビCMを開始し、平成29年3月30日には繁体字中国語及び韓国語に対応する等、さらなるユーザー層の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

既存ゲームでは、平成24年2月20日の配信から5周年を迎えた「パズドラ」は、5周年を記念したイベント等を実施したことからMAUは堅調に推移し、なお平成29年3月19日には国内累計4,500万ダウンロードを突破いたしました。ニンテンドー3DS™向け「パズドラクロス神の章／龍の章」におきましては、有名キャラクターとのコラボレーションや「パズドラレーダー」との連動、アニメ展開やホビー販売、大会の開催等、ユーザー層の拡大と「パズドラ」ブランドのさらなる強化に努めてまいりました。また、平成26年2月10日の配信から3周年を迎えたスマートフォン向け新世代ボードゲーム「サモンズボード」は、引き続き多くのユーザーにお楽しみいただいております。平成29年3月1日には500万ダウンロードを突破しております。さらに、パートナーパブリッシングタイトルとしてサービスを提供しているスマートフォン向けゲーム「ディズニー マジックキングダムズ」も着実にユーザー数を伸ばし、平成29年4月13日に200万ダウンロードを突破いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は25,723百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益10,134百万円（前年同期比28.3%減）、経常利益10,022百万円（前年同期比28.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,075百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間における資産合計は、56,396百万円（前連結会計年度末比1,363百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、11,173百万円（前連結会計年度末比2,874百万円減少）となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、45,222百万円（前連結会計年度末比4,237百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は143百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|---------------|
| 普通株式 | 3,212,000,000 |
| 計 | 3,212,000,000 |

② 【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年3月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成29年5月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 普通株式 | 952,103,160 | 952,103,160 | 東京証券取引所 市場第一部 | (注) 1、2、3、4 |
| 計 | 952,103,160 | 952,103,160 | — | — |

- (注) 1. 完全議決権株式であり、権利の内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
2. 提出日現在、発行済株式のうち243,080,000株は、現物出資（関係会社株式1,999百万円）によるものであります。
3. 単元株式数は100株であります。
4. 提出日現在発行数には、平成29年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成29年1月1日～ 平成29年3月31日 | — | 952,103,160 | — | 5,338 | — | 5,331 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成29年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式(自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式(その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式240,928,400 | — | — |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 711,152,800 | 7,111,528 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 21,960 | — | — |
| 発行済株式総数 | 952,103,160 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 7,111,528 | — |

- (注) 1. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。
2. 「単元未満株式」欄の株式数「普通株式21,960株」には、当社所有の単元未満自己保有株式38株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成29年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|--------------------------------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (自己保有株式) ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 | 240,928,400 | — | 240,928,400 | 25.30 |
| 計 | — | 240,928,400 | — | 240,928,400 | 25.30 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年1月1日から平成29年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 33,876 | 36,375 |
| 売掛金 | 9,063 | 10,462 |
| 有価証券 | 1,302 | 1,352 |
| 商品 | 4 | 8 |
| 仕掛品 | 82 | 53 |
| 繰延税金資産 | 517 | 156 |
| その他 | 2,362 | 1,347 |
| 貸倒引当金 | △25 | △32 |
| 流動資産合計 | 47,183 | 49,721 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産合計 | 814 | 746 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,876 | 871 |
| ソフトウェア仮勘定 | 433 | 478 |
| その他 | 88 | 93 |
| 無形固定資産合計 | 2,397 | 1,443 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 349 | 335 |
| 繰延税金資産 | 1,116 | 1,097 |
| その他 | 3,286 | 3,171 |
| 貸倒引当金 | △115 | △120 |
| 投資その他の資産合計 | 4,636 | 4,484 |
| 固定資産合計 | 7,848 | 6,674 |
| 資産合計 | 55,032 | 56,396 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 561 | 1,023 |
| 短期借入金 | 804 | 271 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 195 | 147 |
| 未払法人税等 | 6,948 | 2,909 |
| 賞与引当金 | 6 | 12 |
| その他 | 4,306 | 5,626 |
| 流動負債合計 | 12,822 | 9,990 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 123 | 100 |
| 退職給付に係る負債 | 10 | 13 |
| その他 | 1,091 | 1,069 |
| 固定負債合計 | 1,225 | 1,183 |
| 負債合計 | 14,047 | 11,173 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,338 | 5,338 |
| 資本剰余金 | 5,469 | 5,469 |
| 利益剰余金 | 108,346 | 112,288 |
| 自己株式 | △80,130 | △80,130 |
| 株主資本合計 | 39,023 | 42,965 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △164 | △38 |
| その他の包括利益累計額合計 | △164 | △38 |
| 新株予約権 | 429 | 489 |
| 非支配株主持分 | 1,696 | 1,805 |
| 純資産合計 | 40,984 | 45,222 |
| 負債純資産合計 | 55,032 | 56,396 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 31,699 | 25,723 |
| 売上原価 | 10,438 | 9,219 |
| 売上総利益 | 21,261 | 16,503 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,126 | 6,369 |
| 営業利益 | 14,134 | 10,134 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22 | 13 |
| その他 | 9 | 7 |
| 営業外収益合計 | 32 | 21 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 5 |
| 為替差損 | 186 | 125 |
| その他 | 7 | 1 |
| 営業外費用合計 | 201 | 132 |
| 経常利益 | 13,965 | 10,022 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 773 |
| 特別損失合計 | — | 773 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,965 | 9,249 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,564 | 2,725 |
| 法人税等調整額 | 251 | 380 |
| 法人税等合計 | 4,815 | 3,105 |
| 四半期純利益 | 9,150 | 6,143 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △47 | 67 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,197 | 6,075 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 9,150 | 6,143 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △121 | — |
| 為替換算調整勘定 | △52 | 169 |
| その他の包括利益合計 | △173 | 169 |
| 四半期包括利益 | 8,976 | 6,312 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 9,058 | 6,201 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △82 | 111 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 192百万円 | 478百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）

1. 配当金支払額

| 決議日 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 平成28年 2月2日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 4,317 | 4.50 | 平成27年 12月31日 | 平成28年 3月7日 |

(注) 1株当たり配当額の内訳は、普通配当3円00銭、記念配当1円50銭であります。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）

1. 配当金支払額

| 決議日 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 平成29年 2月2日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 2,133 | 3.00 | 平成28年 12月31日 | 平成29年 3月7日 |

(注) 1株当たり配当額の内訳は、普通配当3円00銭であります。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日) |
|--|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益 | 9円59銭 | 8円54銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円) | 9,197 | 6,075 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円) | 9,197 | 6,075 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 959,474,722 | 711,174,722 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 9円58銭 | 8円53銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 440,156 | 1,439,705 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で前連 結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | — | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成29年2月2日開催の取締役会において、平成28年12月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|---------------------|-----------|
| ①配当金の総額 | 2,133百万円 |
| ②1株当たりの配当額 | 3.00円 |
| ③支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成29年3月7日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 5月10日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社
取締役会 御中

PwC あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千代田 義央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成29年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年5月10日

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森下 一喜

【最高財務責任者の役職氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂井 一也

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長森下一喜及び当社最高財務責任者坂井一也は、当社の第21期第1四半期（自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。